

博士前期課程 人文社会学専攻

—学位授与・教育課程編成・入学者受け入れの方針—

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【学位の前提となる教育理念】

人文社会学専攻は、歴史・社会・文化・自然・地域などの諸分野を対象とした各専門領域を深めるとともに、学際的に諸問題を探求できる人材を育成します。本専攻では、古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の各コースが有機的に連携して、社会科学や人文科学、さらに自然科学に及ぶ多彩な研究教育を行っています。各コースに共通することとして、明確な問題意識に基づいて課題を設定し、その課題に主体的・積極的に取り組む意欲と努力が求められます。

【身につけるべき「資質・能力」】

- ・多様な資料・史料を活用し、幅広い知識と視野を習得するための語学・読解能力
- ・変貌する社会・文化に対する批判的な観察力と的確な分析力
- ・他者と議論し知見を深めるための実践的なコミュニケーション能力

【学位授与の形式的要件】

上記の資質・能力を身につけ、所定の期間在学して所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで修士論文の審査に合格した学生に修士（文学、学術のいずれか）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【基礎的なカリキュラム構造】

学生は履修系列として、高度な専門的能力を養成する専修系、広い視野を備えた多様なタイプの優秀な人材を育成する複合系のどちらかを選択し、以下の科目群から履修します。教養科目群では大学院生に必要な教養を培います。専門群では特論、演習などを通して高度な専門教育を行います。キャリア形成群では高度な職業能力を開発するための教育を行います。論文等作成群では修士論文の執筆に向けて指導を行います。

【教育の内容と方法】

本専攻では、資料・史料の読解、調査・分析の適用、フィールドワークの実践などを通して、過去から現在に至る人間の諸活動を理解するための、論理的かつ柔軟な考察力を身につけることを重視します。また学際的な視野からものごとを俯瞰する能力、実社会で必要とされる企画・調整力及び他者と協

働する力を培うための大学院教養科目を必修としています。さらに文学部からの6年一貫教育プログラムでは、学部から修士論文作成まで継続的に研究を行い質の高い修士論文を目指すとともに、留学など学外での学修を自ら柔軟に設計することが可能です。

【学修成果の評価の仕方】

学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された成績評価の方法（定期試験、レポート、授業での発表等）に従い、公正かつ厳格に行います。修士論文は、提出された論文と口頭試問により評価します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【入学者選抜の前提となる教育理念】

人文社会学専攻は、歴史学・社会学・地理学などを基盤に、幅広い視野から古代文化・比較史・現代社会・地域環境・メディアについて学ぶことを目的としています。したがって、従来の枠組みにとらわれることなく、関連分野に対しても熱いまなざしを注ぐことができる意欲的な学生を望みます。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、次のような資質と能力を有する学生を求めます。

- ・専門分野に関する基礎的知識
- ・資料・史料や文献を読み解くための語学力
- ・調査・分析、フィールドワークなどを行うための研究方法に関する経験・知識
- ・調査結果や文献などを適切に分析し、論理的に説明する能力
- ・学部での学修・研究を基盤とした明確な研究展望
- ・社会生活に根ざした真摯な問題意識
- ・大学院における研究を広く社会に還元する意欲

【入学者選抜の方法】

コースごとに、一般入試、社会人特別入試、留学生特別入試を実施します。大学院で学ぶために必要な専門知識や研究を計画し実施する能力を測るために、筆記試験と口述試験を行って選抜します。